


学生からよくある質問です。問い合わせ前に確認してください。

分類1	分類2	問い合わせ内容	回答
キャンパススクエア	学業成績票	学業成績票の「課外科目」とはどういう意味ですか？	学業成績票の「課外科目」欄は、卒業所要単位に算入されない科目（教職共通科目など）の単位数を表示しています。
キャンパススクエア	学業成績票	自学科基幹科目の卒業所要単位数を超える単位は、どの区分に算入されますか？	まず自学科発展科目に算入されます。 自学科発展科目の卒業所要単位数も超えた場合は、自他学科科目の単位数に含まれます。 学業成績票上は自学科基幹科目に計上されますが、超えた分は自学科発展科目の不足単位数分に反映されていますので、ご自身でも計算し確認してください。
キャンパススクエア	1年次で修得した学科科目	1年次で修得した学科科目の単位はどの区分に算入されますか？	1年次で修得した学科科目については、1年次時点では学科未所属であるため、自他学科科目に含まれています。 2年次で学科所属が決定後、自動的にそれぞれの区分（自学科基幹、自学科発展、自他学科科目）に割り振られます。
キャップ制		履修可能単位数（キャップ制）とは何ですか？	学生が1年間に履修登録できる単位数は40単位までと定められています（編入生や早期卒業希望等で例外あり）。この履修登録単位に上限を設けている制度をキャップ制と呼んでいます。なお、前年度に「不可」で落とした科目単位数分については、翌年度に限り40単位に上乗せできます。ただし、0点不可は上乗せ単位の対象になりません。また、上乗せできる単位の上限は、8単位までです。
キャップ制	研究指導	ゼミの単位（昼間コース 12単位、夜間主コース 8単位）は、3・4年次で半分ずつキャップに入るのですか？	ゼミの単位は、4年生の時にキャップに算入されます。よって、3年次は、0単位として登録され、4年次に昼間コースは12単位、夜間主コースは8単位として登録されます。
キャップ制	単位認定	TOEICなどの検定試験結果を単位認定してもらう場合、キャップ内に含まれますか？	検定試験等の申請による単位認定は、キャップに含まれません。ただし、履修登録期間後の申請で、単位認定を受けようとする授業科目を履修中の場合は、キャップに含まれますのでご注意ください。
キャップ制	単位互換	帯広畜産大学、北見工業大学との単位互換はキャップ内に含まれますか？	含まれます。この単位数を含めて40単位になるように、前期の履修登録期間、後期の履修登録変更期間に調整してください。
キャップ制	教職共通科目 自由科目	教職共通科目・自由科目は、40単位を超えて履修登録することができますか？	教職共通科目はキャップ制限に関係なく履修登録できます。 自由科目は、入学年度により異なりますので、履修の手引きを確認してください。
履修登録		履修登録期間はいつからいつまでですか？	履修の手引きの表紙裏に掲載している行事予定表等で確認してください。前期・通年・夏季集中講義・夏学期科目は4月にしか登録できません。後期科目は4月、10月のどちらでも登録・変更ができます。
履修登録	配当年次	配当年次が2年次の科目を、3年次で履修することはできますか？	示されている配当年次に達している学生はその科目を履修できるという意味ですので、配当年次が2年次の科目を、3年次で履修することは可能です。

学生からよくある質問です。問い合わせ前に確認してください。

分類1	分類2	問い合わせ内容	回答
履修登録	配当年次	配当年次ⅢとⅢ・Ⅳの違いを教えてください。	<p>いずれも3年次、4年次で履修できる科目となります。ただし、Ⅲは3年次での履修を推奨し、Ⅲ・Ⅳは、3年次、4年次ともに履修を推奨しています。</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 配当基準年次：Ⅰ 1年次以上の学生が履修可能（学科科目の場合は、「各学科の導入的・情報提供的な科目」） ■ 配当基準年次：Ⅱ 2年次以上の学生が履修可能 ■ 配当基準年次：Ⅲ 3年次以上の学生が履修可能 ■ 配当基準年次：Ⅳ 4年次以上の学生が履修可能 ■ 配当基準年次：Ⅰ・Ⅱ 1年次以上の学生が履修可能。1年次、2年次での履修を推奨。（学科科目の場合は、「各学科の最も基礎的な科目」） ■ 配当基準年次：Ⅱ・Ⅲ 2年次以上の学生が履修可能。2年次、3年次での履修を推奨。 ■ 配当基準年次：Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 1年次以上の学生が履修可能。1年次、2年次、3年次での履修を推奨。 ■ 配当基準年次：Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 2年次以上の学生が履修可能。2年次、3年次、4年次での履修を推奨。 ■ 配当基準年次：Ⅲ・Ⅳ 3年次以上の学生が履修可能。3年次、4年次での履修を推奨。
履修登録	時間割を指定しないオンデマンド	時間割を指定しないオンデマンドはどのように履修登録しますか？	<p>時間割を指定しないオンデマンド授業は、同じ時間帯に重なった科目を履修登録することが出来るように設定しますので、集中講義扱いとなります。</p> <p>キャンパススクエアの履修登録画面の「集中講義を登録」から「時間割コード検索」により授業を検索して登録してください。</p> <p>※時間割コードが「1」から始まる科目は昼間コース、「2」から始まる科目は夜間主コースとなります。</p>

学生からよくある質問です。問い合わせ前に確認してください。

分類1	分類2	問い合わせ内容	回答
manaba	時間割を指定しないオンデマンド	時間割を指定しないオンデマンドはどこに表示されますか？	<p>manabaマイページのコース一覧が「曜日」の場合、時間割を指定しないオンデマンド授業はページの最下部「その他の曜日」欄に表示されます。</p> <p>manabaの表示については、必要に応じて「コース一覧」のタブ「サムネイル」「リスト」「曜日」を選択して、表示を変更してください。</p> 
履修登録	卒業見込証明書	後期の履修登録は、前期に登録しなくてもいいですか？	<p>1年間の履修計画を立てるために、なるべく後期の科目も4月に履修登録してください。</p> <p>なお、4年次生は、履修登録によって卒業所要単位を満たすと見込まれる場合、5月以降に卒業見込証明書を発行することが可能となりますので、4月に後期の履修登録も実施してください。10月に履修登録を変更することは可能です。</p>
履修登録	英語	英語の履修登録ができません。	<p>英語については、抽選結果に基づいて言語センター事務室で履修登録します。登録作業時にキャップの空きがなかったり、開講コマがバッティングする科目が登録されていると登録できませんので、注意してください。</p>

学生からよくある質問です。問い合わせ前に確認してください。

分類1	分類2	問い合わせ内容	回答
履修登録		履修登録できない科目があります。	次のいずれかの原因が考えられます。 ①英語科目、 ②履修制限科目、 ③履修条件を満たしていない、 ④既に単位修得済の科目、 ⑤履修可能単位数オーバー、 ⑥開講コマがバッティングしている（例：通年の月1を登録しようとしたが既に後期（又は前期）の月1に別の科目が登録されている等）科目がある。 ①は抽選結果に基づいて言語センター事務室が登録しますが、登録されたことを必ず確認してください。（英語以外の外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・韓国語）は学生自身による履修登録となります。クラスを間違えないように注意しながら履修登録をしてください。） ②は、抽選等により履修可能となった学生のみ履修登録できます。 ③④の履修登録はできません。（④の例：総合科目Iの a, b, c, d は同一科目の別クラスですので、総合科目I bの単位を修得済み又は前期に履修した場合、後期の総合科目I dは履修することができません。） ⑤⑥は別の科目を削除すれば、登録できます。
履修登録	夏季集中講義、夏学期科目	夏季集中講義、夏学期科目の成績は後期に通知されますが、後期の履修登録期間に取り消して、その分を後期科目で追加登録したり、前期に登録せずに出席後、後期に履修登録するということができますか？	できません。履修期間はあくまで前期扱いとなりますので、10月に変更はできません。また、前期を休学する学生も履修できません。
履修登録	冬季集中講義	冬季集中講義は、どのように履修登録しますか。	まず、履修登録画面の「後期」タブをクリックしてから「集中講義を登録」を押下してください。
履修登録	後期	科目が前期と後期でA、B二つのクラスに分かれており、前期でAの単位を修得できなかった場合、後期にBを履修することはできますか？	履修できません。単位修得の有無に関わらず、同一年度内にはA・Bクラス両方を履修することはできません。
履修登録	不可	前年度「0点不可」をとった科目は、再履修することはできないのですか？	履修できます。ただし、40単位を超えて履修することができる単位数にはカウントされません。
履修登録	外国語科目	外国語を卒業所要単位より多く修得した場合は、その単位はどこに入りますか？	共通科目の自由選択に算入されます。
履修登録	社会連携実践	社会連携実践はいつ履修登録するのですか？ また、これらの科目はキャップに含まれますか？	履修登録は必要ありません。卒業所要単位ではありますが、キャップ外科目になるのでキャップを気にする必要はありません。学生支援課キャリア支援室からの通知に従って手続きしてください。
履修登録	後期	10月の履修登録変更期間に、前期・通年科目を取り消して、後期科目を新たに追加することはできますか？	できません。4月に履修登録した前期・通年科目については、履修登録期間終了後の変更はできません。10月の履修登録期間は、後期科目のみ追加・変更が可能となります。

学生からよくある質問です。問い合わせ前に確認してください。

分類1	分類2	問い合わせ内容	回答
履修登録	夜間主コース	昼間と夜間主で、同じ科目名ですが開講時期（前期・後期）や配当年次が違う科目でも昼間の科目は履修できないのですか？	履修できません。同一年度に開講されている場合は、同時開講扱いです。例外は履修の手引きの「昼間コース科目の履修について」に掲載しています。
履修登録	夜間主コース	昼間・夜間主で同じ科目名ですが、夜で基幹科目、昼で発展科目となっていて、昼間コース科目を履修した場合、卒業所要単位に算入される区分は何ですか？	昼間コース発展科目として算入されます。 なお、昼科目を履修できるのは夜で非開講の場合に限ります。
履修登録	夜間主コース	企業法学科科目で、同一科目が同一年度に開講されており、昼間コース 4単位、夜間主コース 2単位となっている場合、配当基準年次に関わらず、昼間コースの4単位の科目を履修することができますか？ 例えば、前期に昼間コースの4単位科目を履修し不可だった場合、後期に開講される夜間主コースの同一科目（2単位）を履修することはできますか？	履修できません。同一科目に関しては、単位修得の有無に関わらず、同一年度内に、昼間コースか夜間主コースかいずれかの科目しか履修登録できません。
履修登録	夜間主コース	昼間の教職共通科目を修得した場合、“昼科目修得制限単位数”の60単位にカウントされますか？	教職共通科目については、60単位にカウントされません。
履修取消		履修取消を申請したのに履修登録が削除されていません。	履修取消は履修登録を削除する（なかったことにする）ものではありません。 そのため、前期に履修取消をした科目分の単位数を、後期に追加することはできません。 また、履修取消をしたことによって、翌年度に履修登録できる単位数の上限が増えることはありません。

分類1	分類2	問い合わせ内容	回答
履修登録	遠隔授業	面接授業（ハイブリッド）とは何ですか？	面接授業（半分以上の授業時数）と遠隔授業（半分未満の授業時数）を併用して実施する授業のことを指します。 例えば、1～8回目の授業は対面、9～15回目の授業はオンデマンドで実施される授業を面接授業（ハイブリッド）としています。
履修登録	遠隔授業	ハイフレックス授業とは何ですか？	対面で実施されている授業がリアルタイムで自宅等にいる学生に配信されている授業のことを指します。 ハイブリット授業の手法のひとつです。
履修登録	遠隔授業	遠隔授業の科目は、何単位まで履修登録できますか？	卒業所要単位に算入することができる60単位まで履修登録をすることができます。例えば、3年次までに24単位を修得している場合は、4年次の履修登録時に36単位まで遠隔授業の履修登録が可能です。 既にご自身が修得している単位数及び科目は、キャンパススクエアの学業成績票等で確認してください。単位数の合計は「遠隔授業修得単位数」欄、科目名に【遠隔】が表示されます。 なお、60単位の上限の対象となる「遠隔授業」は、以下のとおりです。 ・半数を超える授業回数を遠隔で実施する授業科目（実施方法が③遠隔授業（ハイブリット）、④リアルタイム配信、⑤オンデマンド（時間割指定あり）、⑥オンデマンド（時間割指定なし）） ・帯広畜産大学・北見工業大学の開講科目で遠隔にて実施する科目（2023年度から）
履修登録	遠隔授業	遠隔授業の科目は、どのように調べることができますか？	次のいずれかの方法があります。 ①キャンパススクエアのシラバス参照「授業概要情報」の「遠隔授業」にチェックが入っている。 ②時間割の「授業方法」欄の番号が③～⑥になっている。

分類1	分類2	問い合わせ内容	回答
履修登録	遠隔授業	卒業までに、卒業所要単位である124単位を超える授業を履修したいと考えています。卒業のため、面接授業を64単位以上修得しますが、遠隔授業を60単位以上履修できますか？	<p>できます。卒業所要単位に算入できる単位数に上限（60単位）はありますが、履修（単位修得）上の上限はありません。60単位を超える分はシステム上ご自身で履修登録ができませんので、履修登録ができなくなりましたら、問合せフォームからお申し出ください。</p> <p>ただし、1年間に履修登録ができる単位数に上限（キャップ制）があり、また、各科目の授業実施方法は年度によって変更されることがありますので、面接授業を優先し、計画的に履修してください。</p>
卒業所要単位	遠隔授業		やむを得ない事情により結果として面接で受講する授業回数が半分未満となった場合でも、面接授業の単位数として取り扱います。
卒業所要単位	遠隔授業	面接授業（ハイブリット）科目で、病気等により、面接（対面）で授業を受講できない回があり、半分以上の授業回数を面接で受講できなかった授業科目がありました。この場合、遠隔授業の単位数として修得することになりますか？	<p>また、面接授業か遠隔授業であるかの分類は、教員のシラバス作成時に選択した授業実施方法によって分類されます。そのため、学生が履修登録時点で「面接授業」に分類された科目の単位を修得した場合、「遠隔授業」の単位としてカウントされることはありません。</p> <p>※後期科目・冬季集中講義は、後期の履修登録変更期間に公開されている授業実施方法によって分類されます。</p>
卒業所要単位	遠隔授業	2022年度までに修得した遠隔授業の単位は、卒業所要単位に算入することができる遠隔授業の上限60単位の対象になりますか？	新型コロナウイルス感染症の影響による特例措置が講じられていましたので、60単位の上限の対象に含まれません。
卒業所要単位	遠隔授業	卒業のために、各科目区分等において、面接授業で修得しなければならない単位数の要件はありますか？例えば基礎科目の「人間と文化」は、4単位以上の修得が必要ですが、4単位のうち、面接授業で修得しなければならない単位数の要件はあるのでしょうか。	科目区分等による要件はありません。
卒業所要単位	単位認定	大学以外の教育施設等における学修の単位認定（検定等による単位認定）は、面接授業と遠隔授業、どちらになりますか？	面接授業として取り扱います。

「履修登録ができない」旨の申し出がよくある科目です。履修の条件等がありますので、問い合わせ前に確認してください。

科目名		履修の条件等
履修制限科目 (宗教学、文化論、科学方法論、政治学Ⅰ、政治学Ⅱ)	昼	履修可能者に選ばれた学生以外は履修不可。
宗教学	昼	人文科学特別講義(宗教学)(夜)と同一内容のため、単位を修得済みの学生は履修不可。また、2018年度の人文科学特別講義(夜)と同内容のため、修得済みの学生は履修不可。
文化論	昼	同一科目扱いの人文科学特別講義(文化論)(夜)が開講しているため、夜間主コースの学生は履修不可。
科学方法論	昼	社会科学特別講義(科学方法論)(夜)と同一内容のため、単位を修得済みの学生は履修不可。また、2015・2017年度の社会科学特別講義(夜)と同内容のため、修得済みの学生は履修不可。
文化人類学	昼	社会科学特別講義(文化人類学)(夜)と同一内容のため、単位を修得済みの学生は履修不可。また、2016年度の人文科学特別講義(夜)、2018年度の社会科学特別講義(夜)と同内容のため、修得済みの学生は履修不可。
言語・文学特別講義(英米文学Ⅰ)	昼	外国文学Ⅱ(昼)と同一内容のため、単位を修得済みの学生は履修不可。
総合科目Ⅰ	昼	同一科目扱いの総合科目Ⅰ(夜)が開講しているため、夜間主コースの学生は履修不可。
総合科目Ⅱ	昼	同一科目扱いの総合科目Ⅱ(夜)が開講しているため、夜間主コースの学生は履修不可。
経済学入門Ⅰ	昼	同一科目扱いの経済学入門(夜)が開講しているため、夜間主コースの学生は履修不可。
国際経済学	昼	2020年度以降の「国際経済と現代」(夜)と同内容のため、2020年度以降の「国際経済と現代」(夜)の単位を修得済みの学生は履修不可。
流通システム論	昼	2022年度から科目名が変更されているため、流通システム論Ⅱの単位を修得済みの学生は履修不可。
マーケティング入門	昼	2022年度から科目名が変更されているため、流通システム論Ⅰの単位を修得済みの学生は履修不可。
マーケティング戦略	昼	2022年度から科目名が変更されているため、マーケティングの単位を修得済みの学生は履修不可。
経営学原理Ⅰ	昼	同一科目扱いの経営学原理(夜)が開講しているため、夜間主コースの学生は履修不可。
ソフトウェア科学	昼	2020年度から配当年次が変更されているため、2020年度以降入学生は2年生以上、2019年度以前入学生は3年生以上が履修可能。
認知科学Ⅰ	昼	2023年度から科目が分割されているため、認知科学の単位を修得済みの学生は履修不可。
認知科学Ⅱ	昼	2023年度から科目が分割されているため、認知科学の単位を修得済みの学生は履修不可。
社会情報入門Ⅰ	昼	昼間コースの社会情報学科以外の2年生以上は履修不可。 同一科目扱いの社会科学入門(夜)が開講しているため、夜間主コースの学生は履修不可。
社会情報入門Ⅱ	昼	昼間コースの社会情報学科以外の2年生以上は履修不可。 同一科目扱いの社会科学入門(夜)が開講しているため、夜間主コースの学生は履修不可。

科目名		履修の条件等
社会科学特別講義（社会科学）	夜	社会科学（昼）と同一内容のため、単位を修得済みの学生は履修不可。
前期開講の帯広畜産大学、北見工業大学提供科目		履修可能者となった学生以外は履修不可。
数理データサイエンス概論	（北見）	情報科学概論（北見）の単位を修得済みの学生は履修不可。
プログラミング入門I	（北見）	情報科学概論演習（北見）の単位を修得済みの学生は履修不可。
前期にAクラス、後期にBクラスが開講されている科目 （例：総合科目 I 前期b、集中a、後期c, d開講）	昼	前期にAクラスの単位を修得できなかった学生は、後期開講のBクラスの履修不可（英語を除く）。 （例：前期開講の総合科目 I bを履修し単位を修得できなかった場合、後期開講の総合科目 I c, I dは履修できません。）
英語以外の外国語 I	昼・夜	前期の外国語 I - 1 の単位を修得できなかった学生は、後期の外国語 I - 2 の履修不可。
【企業法学科科目 昼・夜コースで同一科目が同一年度に開講されており、昼コースの科目が4単位、夜コースの科目が2単位で開講されている科目】 （例：商法Ⅱ 前期に昼コースで4単位開講、後期に夜コースで2単位開講）	夜	前期に単位を修得できなかった学生は、後期の履修不可。 （例：前期昼間コース開講の商法Ⅱ（4単位）を履修し単位を修得できなかった場合、後期開講の夜間主コース開講の商法Ⅱ（2単位）を履修することはできません。）